

2015年(平成27年) 4月23日 木曜日

災害備蓄品セット箱詰め

ききょうの杜 利用者ら 福高納品の仕事を受注

福知山市桔梗が丘の 蓄品の箱詰めの仕事に納品した。同機構は、東日本大震災以降、各地で個人や学校に向けて備蓄整



非常食などを箱詰めするききょうの杜の施設利用者ら

箱運動」に取り組んでいる。福知山高校では、災害などの帰宅困難時に備えて、2、3年生用はすでに非常食がある。

今年度は、高校と附属中学校のそれぞれの入学生ら約390人分を同機構に注文。内容もパンの缶詰、保存水、簡易トイレ、除菌ティッシュなど8品を入れた、より有用な小さな小箱に切り替えた。保存期間は4年間。

白い小箱の箱詰め作業と納品は、地域福祉向上を狙い配布先の近隣にある障害者福祉施設に依頼しており、今回はききょうの杜が選ばれた。

同機構の古谷賢治代表理事は「京都府内の

学校では2校目で、公の大切さがもっと広が立学校としては初めて頼で地元の障害者福祉の支援にも役立ちたい」と話していた。